

【当別】「当別町でのふくしのまちづくり勉強会」と題した初のイベントが10月11、12の両日、町内各所で開かれる。映画上映や福祉専門家、ジャーナリストらを招いた講演会を開くほか、訪れた人に当別の味も楽しんでもらおうというユニークな試み。福祉を通じたまちづくりと地域振興を目指す。(荻野貴生)

「福祉の当別」町挙げ勉強

福祉事業を行うNPO団体や、町役場職員ら官民一体となった実行委員会の主催。今回のイベントのほか、年度内に3、4回の勉強会を計画している。10月11日は午前10時から武田鉄矢主演の「降りてゆく生き方」を上映する。団塊の世代のやり手営業マンが

11、12日イベント

第二の人生を夢見て地方都市開発に乗り込む物語で、日本が抱える問題を考えよう。午後1時半からは北海道医療大の向谷地生良教授が講演。午後3時半からは元新聞記者で、国際医療福祉大の大熊由紀子教授が「福祉が変わるまちが変わる―真の豊かさへの挑

戦」と題して話す。11日は昼食時間帯に「当別堪能『ぶらぶら』」として、屋敷味めぐりとして町内の飲食店13店いずれかで食事を楽しんでもらうほか、午後6時から当別産の農畜産物を調理した立食パーティーも開かれる。12日は、午前10時から長寿社会開発センターの石黒秀喜常務理事が「老いの支度をする

ジャーナリストら講演

地場の味楽しむ企画も

という」と題して講演する。実行委員長で、NPO法人当別町青少年活動センターゆうゆう24の大原裕介所長は「福祉イベントは関係者だけの参加になりがちだが、関係のない多くの人に来てほしい」と思い、企画したと話す。実行委は11月29日にも講演会を企画、3日は、ゆうゆう24が5137へ。

いる。3日間で定員は300人。当別町民は講演会は無料、映画上映は500円。町外の参加者は講演会が3日間、映画のみが1500円、映画と講演会が2千円。屋敷味めぐりは700円、立食パーティーは2千円。好きな行事だけの参加も可。問い合わせは、ゆうゆう24が5137へ。